

## これまでの地域振興懇談会で出された主な意見等(R3年度 第1回～第3回)

### R3年 第1回懇談会

- 文厚エリアだけでなく地域にも目を向けてもらうように努力してほしい
- 児童数が減るのは承知しており、今後統合の方向もわかるが、小学校がなくなると活気が薄れる
- 中学校は、無駄を省き計画的に修理や建て替えを行うべき
- 渡前、東栄が統合となった場合、跡地活用などは地域の意見を吸い上げてほしい

### R3年 第2回懇談会

- 中学校の改築と周辺施設の整備構想は藤島地域にとって重要な課題
- 生徒数の見直しなどを踏まえて、東栄小、渡前小も一緒に考えて今後の方針を示してほしい
- 老朽化施設は、そのまま建て替える時代ではない。藤島地域全体の視点で再生化を図るべき
- 藤島地区(中心部)だけでなく、全地区含めて考えてもらいたい
- 小中一貫校や各小学校を残すかなど期成同盟会形式で進めたらどうか
- 施設整備は、小学校統合後の空き施設を利用する視点もある
- 施設整備は、地域全体の振興が図れるように考えてほしい
- 小規模校では、競争意識が芽生えない。デリケートな問題だが前向きに考えてはどうか
- 長沼小の統合は、教委主導で進んだ印象だったが、今の子どもたちを見る限り正解のようにも見える
- 統合で小学生との交流の場が失われたのは寂しいが、地域で子どもたちと関わる新たな事業も生まれた
- 住民それぞれの想いをできるだけ拾いデザイン化することが重要。専門家の力が必要
- 中学校改築は、50年に1度、ぜひいいものを作ってほしい。先進事例を集めての議論が大切
- すべての施設の改修は難しいので、一つの施設に統合する考えもある
- 老人福祉センターは役割をほぼ終えた施設。今後、文厚エリアの整備の際に撤去してほしい

### R3年 第3回懇談会

- 中学校改築が文厚エリア事業として令和4年度から計画どおりに進むよう取り組みを
- 中学校の天井の崩落をきっかけに、安全・安心な教育環境の整備が急務
- 着々と進めていかないと適切な時期に目標を達成できない。中心となるリーダーが重要

## 本日の協議内容といただきたいご意見

### (1)藤島地域の教育環境とまちづくりについて

- 藤島中学校区の教育環境の現状と課題 【資料1】  
(児童生徒数等の推移、施設状況)
- 鶴岡型小中一貫教育の推進について(案)【資料2】

- 藤島中学校改築に伴う藤島地域全体の教育環境の整備方針への意見  
(児童生徒数の今後を踏まえて)
- 藤島中学校周辺施設(武道館等の文厚施設)への意見  
(まちづくりの観点から)

### いただきたいご意見

### (2)今後の進め方について

- 藤島地域教育振興会議(仮称)の設置について

- 藤島地域教育振興会議(仮称)の設置への意見

【資料3】